

根室地域（落石地区）マリンビジョン

～独自の自然環境・景観と共生した漁業と暮らしの再構築～

水産物の安定供給
基盤・体制の確保

環境・生態系保全と
グリーン社会の構築

安全安心な
漁業地域づくり

漁村地域の
総合的な振興

■地域マリンビジョン協議会

【メンバー構成】

- ・漁業関係者
- ・商工業関係者
- ・義務教育学校
- ・信用金庫
- ・行政関係者
- ・農業関係者
- ・金融関係者
- ・郵便局
- ・町内会等

●基礎データ

地域人口：684人(287世帯)(R6年根室市統計)

漁業生産量：4,242t(R5値)

漁業生産額：2,358百万円(R5値)

漁港：落石漁港(落石地区、浜松地区、昆布盛地区)(第3種)

根室港(根室地区、花咲港区)(重要港湾)

«令和7年3月改訂»

地域の将来像

テーマ：未来へつなぐ漁村づくり

水産物の安定供給基盤・体制の確保

- ・持続的漁業生産体制の確立
- ・養殖生産拠点の形成
- ・高度な品質・衛生管理体制と多様な流通体制の構築

- ・衛生管理体制の確立
- ・陸上養殖事業の展開
- ・落石産水産物のブランド形成

環境・生態系保全とグリーン社会の構築

- ・沿岸海域の環境・生態系保全活動の広がり
- ・漁港・漁村地域におけるカーボンニュートラルの推進

- ・環境に配慮したまちづくりの推進
- ・自然エネルギー活用による漁港漁村の省エネ化

安全安心な漁業地域づくり

- ・増大する災害リスクに対応した漁港機能の強化
- ・ハード・ソフトが一体となった避難体制の構築
- ・災害時における水産物流通機能の確保

- ・地域一体となった総合的防災体制の確立
- ・災害時における水産物の生産・供給体制の確立

漁村地域の総合的な振興

- ・海業振興による地域資源を活かした新産業の創出
- ・地域振興を担う人づくり
- ・多様な連携による地域振興

- ・海業振興による漁村地域の活性化
- ・渚泊の推進による滞在型観光の実現
- ・漁協施設を活用した落石産水産物の地産地消

地域全体

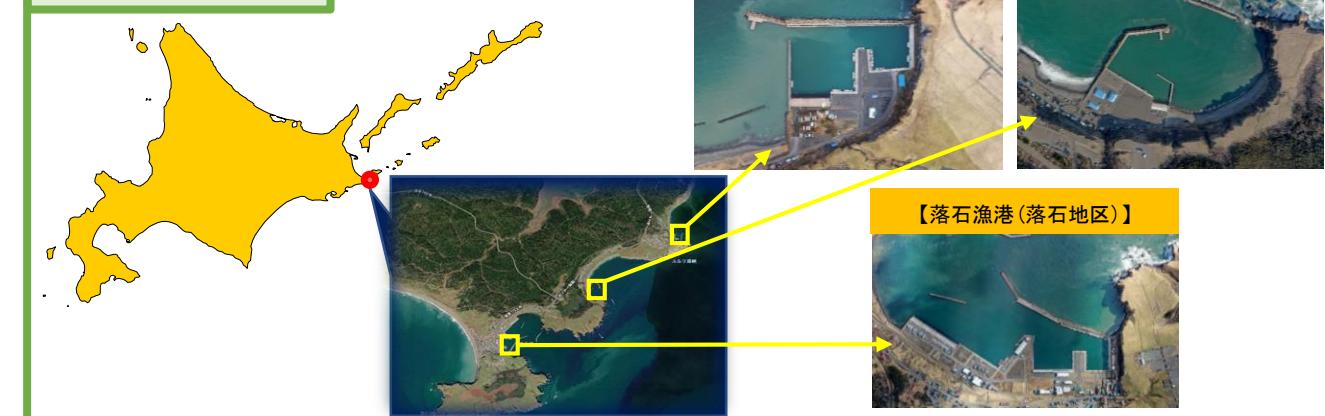
現状

課題

- ・人口減少
- ・少子高齢化が進行
- ・主要魚種の不漁、魚価の低迷
- ・地震多発地帯
- ・天然資源・観光資源が豊富

- ・漁業者の就業所得の向上
- ・関連産業の未形成
- ・後継者・担い手不足
- ・交流人口の増加による外貨の獲得
- ・防災・減災対策

【位置図】



地域資源（特徴）



〈漁獲水産物の陸揚げ〉



〈落石ネイチャーカルーズ〉



〈おちいし味まつり〉



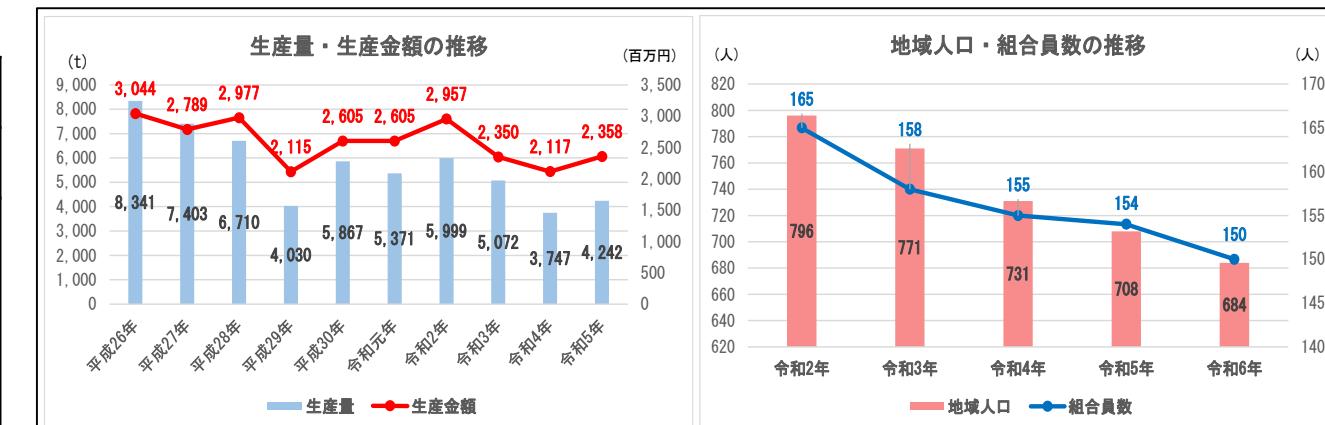
〈サカイツツジ〉

【地域の特徴】

- 独自の自然環境・景観・地形
- 水産資源とそれを支える水産基盤
- 多様な人材と人的ネットワーク

【その他】

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| ・ユルリ島・モユルリ島 | ・長節湖、風連湖・希少な野鳥の宝庫 |
| ・落石岬、浜松海岸、三里浜 | ・酪農家集団によるグリーンツーリズムの取組み |
| ・日本で落石岬にしか咲かない花（サカイツツジ） | ・エゾ鹿、落石神社等 |



水産物の安定供給基盤・体制の確保

【持続的漁業生産体制の確立】 【養殖生産拠点の形成】
【高度な品質・衛生管理体制と多様な流通体制の構築】

落石地域マリンビジョン

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業が基幹産業 ・衛生管理施設（屋根付き岸壁、清浄海水導入施設）が整備済 ・落石衛生管理マニュアル整備済 ・漁業者の減少、少子高齢化が進行 ・天然資源依存型の漁業に特化されている ・主要魚種資源の減少が著しく、漁家経営の先行きが不透明 ・根室市と東海大学との産学官連携によるヤナギダコ資源増大研究により、国内初となる稚苗放流試験を実施 ・全国的に落石産ブランドの知名度が低く、浸透していない ・令和4年に落石漁協内部に製品開発・販売部を新設
	<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全・安心、消費者ニーズに対応した落石漁港・市場を中心とした衛生管理体制の確立 ・落石漁港（落石地区・浜松地区）における増養殖機能の整備 ・水産物の高付加価値化による魚価の向上 ・漁業経営の安定化 ・落石産ブランドの浸透、認知度向上 ・落石産水産物を使用した商品の開発、生産体制の強化



【概要】

・平成25年に供用開始



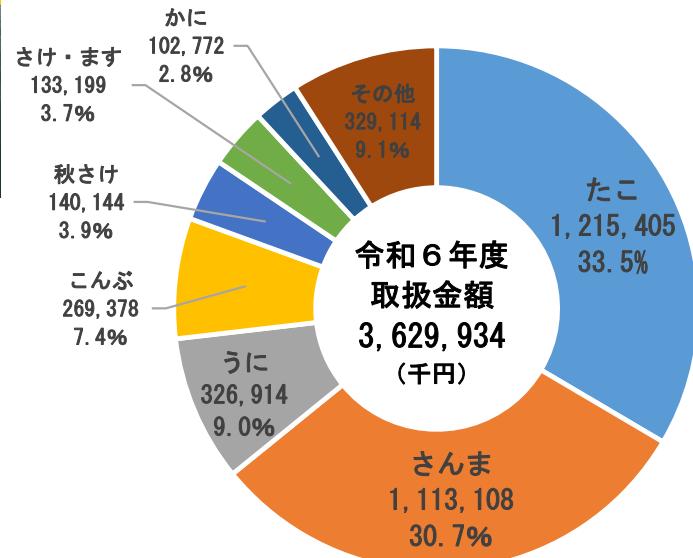
【概要】

・平成26年に供用開始



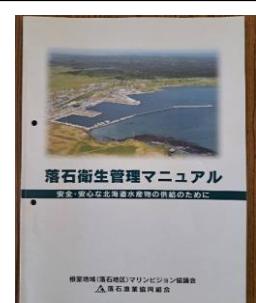
【概要】

・平成26年より実施
・東海大学海洋学部との共同開発による、「ヤナギダコの産卵・ふ化技術」を活用し、市場内において陸上水槽産卵技術を活用した稚ダコをカルベース試験礁に放流している



推進方策

取組内容	取組体制	スケジュール	数値目標
衛生管理体制の確立	主体：漁協、根室市、衛生管理推進協議会、関連団体、買受業者等	短・中期・長期：衛生管理推進組織の設置、市場利用者による落石衛生管理マニュアル並びに根室市衛生管理マニュアルの着実な実践	・「漁港における衛生管理基準（レベル3）」への対応
高度衛生管理に向けた落石漁港整備の推進	主体：国、漁協、根室市	短・中・長期：衛生管理流通拠点漁港の形成、外来漁船誘致施設の整備（周辺漁港との連携）	—
つくり育てる漁業の推進	主体：漁協、根室市、国、道	短期：ウニの陸上養殖・海面養殖、ホッキガイ・サケの増養殖、タコ産卵礁の整備、昆布漁場の維持・保全を図るため雑海藻駆除等による漁場の造成、新たなコンブ増殖技術の試験継続・効果調査、根室市と東海大学との産学官連携によるヤナギダコの資源増大へ向けた相互研究並びに稚ダコ放流試験の実施	・ウニ出荷額 50t/年 ・ウニ生産額 2億5千万円/年
		中期：落石漁港における増養殖機能の強化、陸上養殖施設の建設	
		長期：養殖に適した静穏域の確保	
落石産水産物のブランド形成	主体：漁協、根室市	短期：落石産水産物を使用した水産加工品の生産体制の構築、道内外催事での積極的な販売促進活動	・製品開発・販売部における落石産水産物の売上 6,000万円/年 (現状の60%アップ)
		中期：様々な情報発信媒体を効果的・有効的に組み合わせた情報発信、新規取引先の開拓	
		長期：消費者ニーズに応じた商品開発、ブランド品等の販売	



落石衛生管理マニュアル



ウニの陸上養殖



令和7年2月に新設した加工処理施設



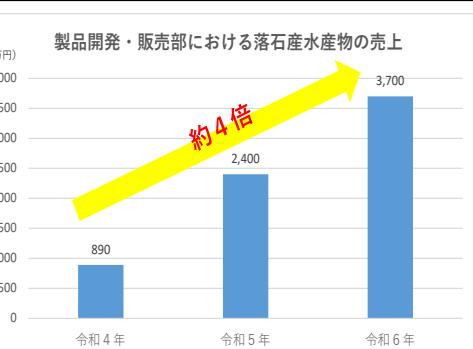
落石産ブランド「しお風」



道内イベントでの販売促進活動



セブンイレブンと共同開発したおにぎり「たこめし」



環境・生態系保全とグリーン社会の構築

【沿岸海域の環境・生態系保全活動の広がり】
【漁港・漁村地域におけるカーボンニュートラルの推進】

落石地域マリンビジョン

環境・生態系保全とグリーン社会の構築	現状
	課題
<ul style="list-style-type: none"> 落石岬やユルリ・モユルリ島などの豊かな自然環境がある ユルリ・モユルリ島は北海道の天然記念物や自然環境保全地域に指定されている。 海岸や漁港にゴミが散乱している 磯焼けなどによる漁場環境の悪化 汚水処理施設の未整備 燃油、電気料金の高騰 コンブ乾燥機利用時に大量の燃料が使用され、二酸化炭素の排出が多くなっている 	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮したまちづくりと環境改善への取組の推進 藻場の保全 排水路整備による海域の水質改善 環境に応じた風力発電・波力発電等の自然エネルギーの活用検討 コンブ乾燥工程の協業化等による漁業活動のエコ化 ユルリ・モユルリ島の環境保全

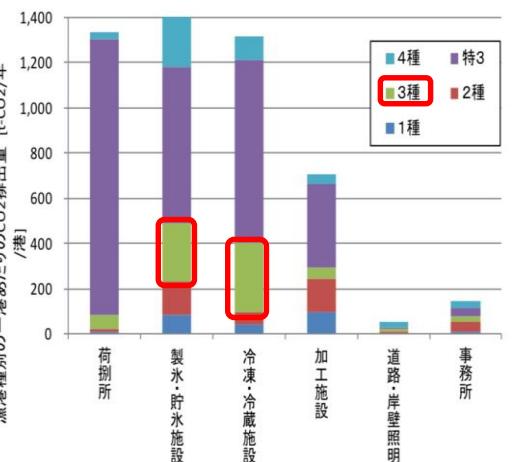


【概要】
・根室半島・花咲岬の7.5km沖に位置する無人島。



海岸清掃状況

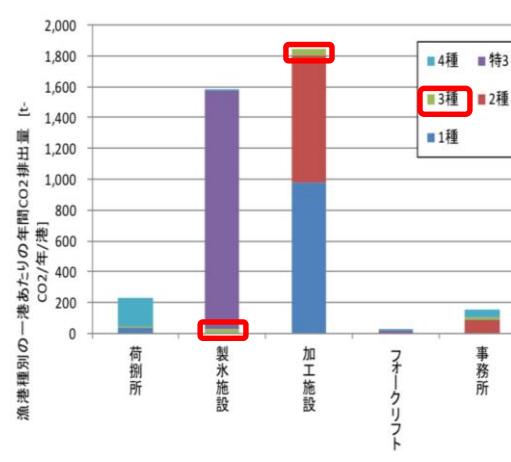
漁港施設別の電力の使用による二酸化炭素排出量



【概要】

・製氷施設、冷凍・冷蔵施設、荷捌き所からのCO2排出量が多い

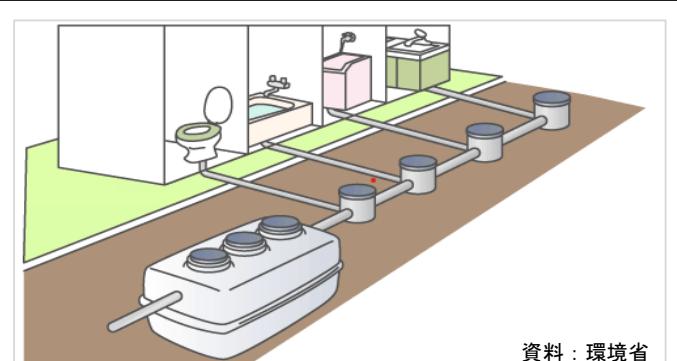
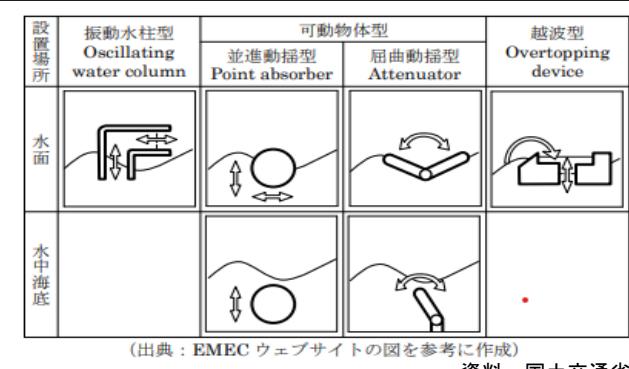
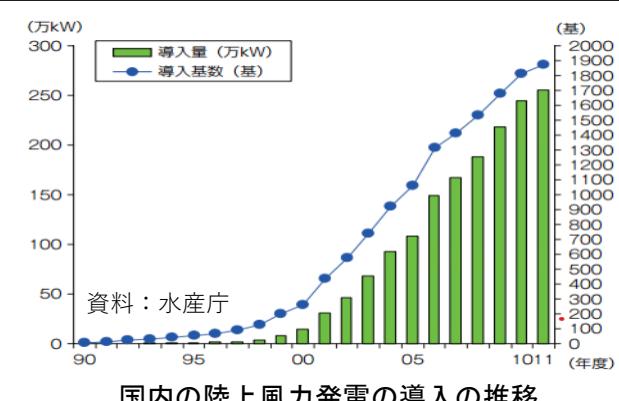
漁港施設別の燃料の使用による二酸化炭素排出量



・資料：漁港のエコ化推進調査（水産庁）

推進方策

取組内容	取組体制	スケジュール	数値目標
植樹・清掃活動	主体：漁協、町内会、期成会、愛護会、根室市	短期：海岸・漁港清掃の実施、海底清掃・岩盤清掃をはじめとした藻場造成の実施、植樹事業の実施	・海岸・漁港清掃実施回数 3回/年 ・藻場造成回数 30回/年
		中・長期：取組の継続	
汚水処理施設の整備	主体：漁協、根室市、国	短期：根室市汚水処理施設整備構想で示された個別処理の整備手法に基づき、合併浄化槽の設置を推進	・合併浄化槽整備率 100%
		中・長期：取組の継続	
漁港漁村の省エネ化の推進	主体：漁業者、漁協、根室市	短期：関係者の省エネ意識の向上と具体的な取組の推進、コンブ乾燥機の更新による省エネ化の推進	・電力消費量 10%削減
		中期：小型風力発電の立地可能性調査（風況等）の実施、電力需要量と供給可能量の検討、施設整備に向けた財源の確保に関する検討	
		長期：小型風力発電の導入推進、落石周辺海域における波力発電の導入可能性についての検討、コンブ共同乾燥施設の整備	
ユルリ島・モユルリ島清掃	主体：漁協、義務教育学校、根室・落石地区と幻の島ユルリ島を考える会	短期：ユルリ・モユルリ島の清掃活動	・ユルリ・モユルリ島清掃実施回数 1回/年
		中・長期：取組の継続	



合併処理浄化槽のイメージ図



海底清掃で回収された漁網などのゴミ

資料：環境省

資料：国土交通省

資料：環境省

安全・安心な漁業地域づくり

低地集落のため、津波や高潮時において防災上の不安がある
日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による著しい被害が生じる恐れがある
落石漁港BCPが策定済
降雨時において漁港背後の崖から土砂や泥水が港内へ流出する
沼地周辺の地帯での冠水問題
災害時における事務所機能の移転先として民宿を整備済

大地震や津波をはじめとする自然災害への対応
高潮被害の防止
BCPの実効性確保
災害時における水産物の生産・供給機能の確保
道路や用地の液状化対策・冠水防止対策

【増大する災害リスクに対応した漁港機能の強化】
【ハード・ソフトが一体となった避難体制の構築】
【災害時における水産物流通機能の確保】

落石地域マリンビジョン

現状
課題

現状

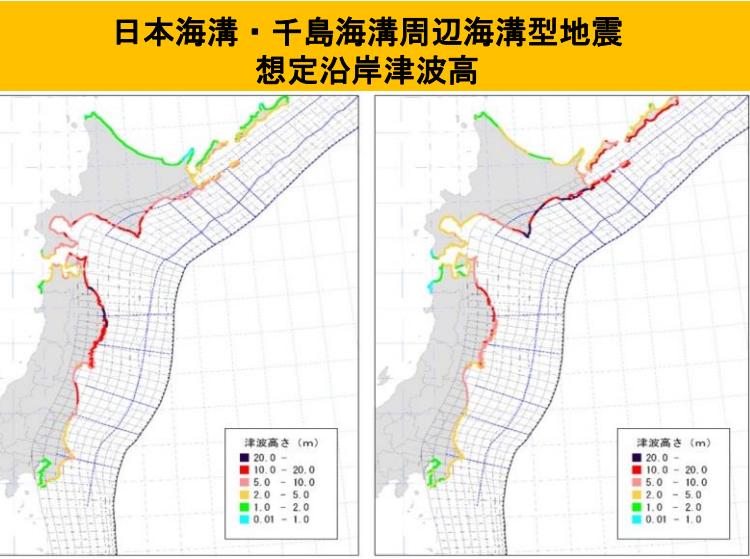
課題



被害想定データ

〈千島海溝周辺海溝型地震による被害想定〉

死者数	約100,000人
被害額	約17兆円
全壊棟数	約84,000棟
最大沿岸津波高	22.0m



【概要】

- ・(左)日本海溝モデルの想定沿岸津波高(満潮時)
- ・(右)千島海溝モデルの想定沿岸津波高(満潮時)

進 方 策

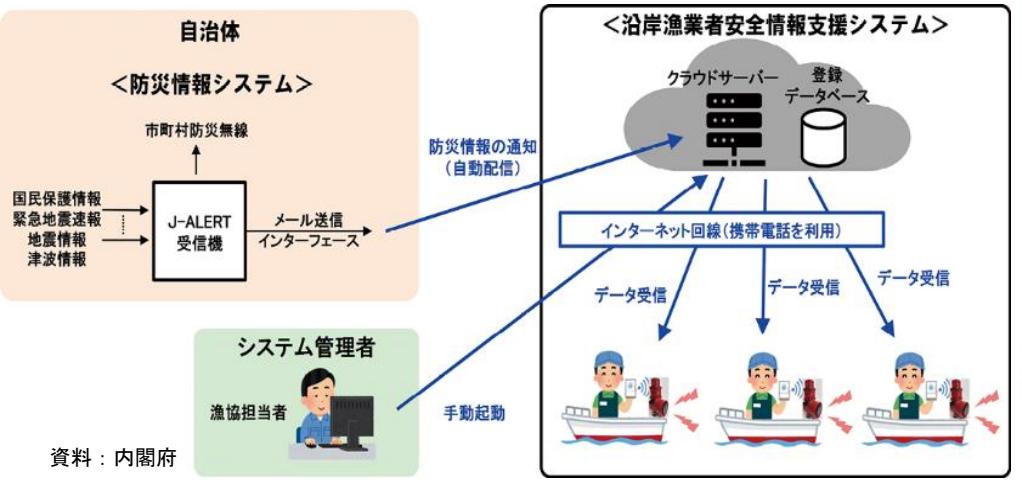
取組内容	取組体制	スケジュール	数値目標
総合的防災体制の確立	主体：漁協、根室市、地域住民等	短期：ハザードマップの整備（精度向上）、避難訓練の実施、防災講習会の開催	・避難訓練実施回数 2回／年 ・防災講習会実施回数 1回／年
		中・長期：大規模災害時における事務所機能の移転を踏まえた初動体制の整備、防災情報伝達システムの構築	
総合的防災基盤施設の整備	主体：漁協、根室市、道、国	短期：集落ごとの避難路・避難場所の整備、小型漁船に対する情報伝達施設の整備	・漁業活動の早期再開を目指す。
		中・長期：ハード整備（道路・用地の液状化対策、濁流防止柵）の推進、津波対策における防波堤の整備	
BCP計画に基づく訓練の実施	主体：漁協、根室市、落石漁港BCP協議会	短・中・長期：BCPの訓練、継続的改善（PDCAの実施）	・漁業活動の早期再開を目指す。
避難ルールの見直し・運用	主体：漁協、根室市、地域住民	短期：避難ルールの見直し	・死者ゼロを目指す
		中・長期：避難ルールに基づく訓練	



避難訓練の様子



防災講習会の様子



小型漁船への防災情報伝達システム全体概要

津波に備える			
種類	発表される津波の高さ	動力船	船外機船
大津波警報	巨大 10m超	避難海域	沖出しがない
	5m	沿岸での残り時間	沖出しがない
	3m または3m	40分以上	※すみやかに高台へ
津波警報	高い または3m	30分以上	
津波注意報	1m	30分以内 (漁港から6km)	自己判断
避難場所 または安全な高台	本港 漁港から3km	本港 漁港から4km	動力船でも大津波警報 巨大または10m超または 10mは沖出しがない
動力船		さらに沖合へ	
		船外機船は沖出しがない ※すみやかに高台へ	

～危険な漁船避難をさけるために、漁師のみんなで決めた大切なルールです！

~危険な漁船避難をさけるために、漁師のみんなで決めた大切なルールです！

漁村地域の総合的な振興

漁村地域の総合的な振興

- ・ユルリ・モユルリ島などの天然記念物をはじめとした観光資源が豊富
- ・全国でも有数の野鳥の生息地
- ・ネイチャーカルーズやフットパスなどの観光資源を活かした取組を実施
- ・優れた資源・取組間のネットワーク化が未形成
- ・通過型観光地
- ・担い手の高齢化、観光ガイド不足
- ・落石地区における小中学生の減少
- ・漁協施設（加工処理施設）の新設
- ・資源量減少による漁業者所得の減少

- ・観光資源の有効活用
- ・新たな顧客の獲得
- ・地域の魅力発信
- ・通過型観光から滞在型観光への改善
- ・多様な連携の推進
- ・取組を担う人材の確保と育成
- ・漁獲量・金額の変動に柔軟に対応する就業所得機会の創出
- ・落石産水産物の地産地消

【海業振興による地域資源を活かした新産業の創出】
【地域振興を担う人づくり】
【多様な連携による地域振興】



独自の自然環境・景観



落石ネイチャーカルーズ



おちいし味まつり

推進方策			
取組内容	取組体制	スケジュール	数値目標
既存の取組の拡充・強化	主体：漁協、根室市、ネイチャーカルーズ協議会、漁業者	短期：ネイチャーカルーズにおける新コースの開発、おちいし味まつりの内容強化、新たな観光コンテンツの模索・開拓、旅行代理店等へのネイチャーカルーズの売り込み強化	・イベントによる落石地区への入込観光客数 9,000人/年 (現状の50%アップ)
		中・長期：新たなコースを加えたネイチャーカルーズの実施、フットパスの通年化	
新たな都市漁村交流メニューの開発	主体：漁協、根室市、地域住民	短期：新たな漁業体験メニューの構築、地域資源を活かした観光体験プログラムの検討 中・長期：地域資源を活用した総合的な観光体験プログラムの実践	・観光体験プログラム数 2個追加
多様な連携による戦略的なPRと滞在拠点の形成	主体：漁協、根室市、地域住民	短期：観光業者との連携強化、メディアやSNS等の積極的な活用 中期：漁家民泊の受入体制構築、既存施設等を活用した滞在拠点の形成、定期的な地域懇談会の実施 長期：廃漁船等を活用した宿泊施設の検討、漁業協同組合・漁業者・民間企業等との連携による海業の推進	・SNS投稿数 60回/年 ・宿泊受入人数 100人/年 (現状のネイチャーカルーズ受入人数の10%程度を想定)
次世代を担う小中高生を核とした担い手確保対策	主体：漁協、根室市、漁業者、教育機関	短期：出前講座・漁業体験の実施、他の漁村地域との連携による授業の実施 中期：取組の継続、漁村留学制度の構築 長期：取組の継続、漁村留学制度の運用	・出前講座実施回数 2回/年 ・漁業体験実施回数 2回/年
漁協施設を活用した地域水産物の販売	主体：漁協、根室市	短期：直販店舗建設計画の立案、落石産水産物・加工品を活用した物産イベントの開催 中期：直販店舗の建設 長期：直販店舗による地域水産物の販売	・落石産水産物の売上 6,000万円/年 (現状の60%アップ)

